

鹿児島県

1. 商品名等

商品名	まっくすパン		
商品写真(イメージ等)	商品説明(コンセプト等)		
	<p>本校所在地の蒲生町には日本一の大楠があり、大楠をイメージしたパンを作製することにした。メロンパンの上のクッキー生地に抹茶を入れ、横から見た姿を大楠に見立てた。ターゲットを高校生に絞り、中に少量のチョコレートを入れ、高校生が好むメロンパンにした。抹茶の「抹」と大楠の「楠」を使い、「まっくすパン」とネーミングし、英語の「MAX」にかけ、商品とともに大きく育ててほしいとの願いも込めた。また、生徒が力強い大楠をイメージし「大楠太郎」を考案。キャラクターとして使用した。</p>		

2. 学校紹介

学校名	鹿児島県立蒲生高等学校	電話	0995-52-1155
住所	鹿児島県始良市蒲生町下久徳 848 番地 2	F A X	0995-52-1161
担当者	田中 さおり	地頭江 暁子	
U R L	http://www.edu.pref.kagoshima.jp/sh/kamo/		
E-mail			
<p>本校は鹿児島県のほぼ中央に位置し、樹齢 1500 年の日本一の楠の木がある蒲生町にある。平成 27 年度で創立 110 年を迎える歴史があり、「普通科」「情報処理科」の 2 学科を有し、「明朗」「誠実」の校訓のもと、約 260 名の生徒が学業や部活動等に力を入れている。進路状況は、進学率・就職率ともに 100% で、本校卒業生も各分野で活躍されている。情報処理科では平成 26 年度から地域貢献活動に力を入れ、文化祭でも全国の専門高校生の開発した商品や製作した商品を仕入れ、販売実習、地区専門高校フェスタにて蒲生町の物品販売や広報活動などを行うなど、地域に愛される学校作りを目指している。平成 29 年度は、キャリア教育優良校として文部科学大臣表彰受賞。</p>			

3. 実施科目等

科目名	課題研究 電子商取引 他	単位数	3 単位
対象生徒	情報処理科 3 年	担当教員数	2 名

4. 予算関係(費用)

校内研究費

5. 開発経緯等

H29.1 商品の開発過程。

当初、大楠の形をしたクッキーを検討。業者に依頼し、クッキーを作製。

提携業者との打ち合わせにより、販売価格が高く、商品化できないと判断。

再度、生徒と検討した結果（商品開発会議）、同じ金額ならパンの方が良いという意見が多く、パンの商品開発に取り組む。

H29.2 担当生徒が学校の調理室を借り、試作品を作製。完成品を先生方に試食していただき、味や値段等のアンケートを実施。業者にも試作品を提出し、業者の試作品のサンプルを依頼。

H29.3 業者に依頼した試作品の試食。試作品の商品化を決定する。その後、販売価格の検討。

H29.4 地元のシンボル大楠をイメージするキャラクターを同時に考案、ラベルに使用することを決定。

キャラクターの完成により、キャラクターをイメージするラベルも同時に作製。

抹茶の「抹」と大楠の「楠」で「まっくすぱん」と命名。

当初、商品化による大きく育ててほしいとの願いを込め、英語で「MAXパン」とした。

H29.5 ラベルを作製したが、「MAXパン」では商品イメージが堅くなり、ひらがなで「まっくすぱん」と商品名を変更。

ポスターも同時に作製。

H29.6 体育祭を初めての発売日と決め、限定50個で発売した。販売開始5分で完売。

その後、学校の購買部で毎週火曜日に限定10個を販売した。

また、業者の店頭と蒲生町の物産館複合施設にて販売中。



【地元新聞掲載記事】

6. 販売形態・期間

①
・
無

- ・学校の購買部
- ・共同開発したパン工房「百番館」
- ・地域の物産館複合施設「フォントナの丘 かもう」

7. 協力者等

①
・
無

- ・パン工房「百番館」

8. 商標登録の有無

有
・
無

検討中

9. 今後の課題・展望等

商品を販売するまで、さまざまな苦労があり、生徒たちもたくさんの良い経験をした。該当生徒たちは卒業していくため、この経験を生かし、後輩たちがあらたな商品開発に取り組むなど、継続していきたいと考える。